

科目名	科学英語演習	科目コード	11360
-----	--------	-------	-------

学科名・学年	機械工学科・5年（プログラム2年）
担当教員	前期：青柳成俊 後期：機械工学科全教員
単位数・区分	2単位・必履修
開講時期・時間数	通年，60時間【内訳：講義30 演習30】
教科書	資料を配布する．
補助教材	プリント

### 【A．科目の概要と関連性】

機械技術者として必要な英語読解能力とコミュニケーション能力を高めることを目的とする．まず、英語文法の復習を行って基礎知識を再確認し、その後、演習や輪講を通して実践力を養う．

### 【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(D)と主体的に関わる．

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す．

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
専門分野の英文読解力を身につける．	20%	D4, B5
科学技術の英語表現を習得する．	20%	D4, B5
科学分野のことがらを、的確な英文で相手に伝えることができる．	20%	D4, B5
文法文型を復習して、英文解釈の基礎を固める。	20%	D4, B5
学術論文の概要が理解できる程度の英文解釈力をつける。	20%	D4, B5

### 【C．履修上の注意】

毎日、英語に触れること。輪講の順番に当たったときには十分な予習を行ってこよう。和訳および正確な英訳と発音が大切である。TOEIC受験は必ず受けるようにしたい。

### 【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する．60点以上を合格とする．

レポート【40%】、その他【60%】

前期担当：青柳【40%】（課題演習、講義内での演習および小テスト）

後期担当：各卒研指導教員【60%】（課題により評価し、最終的に科内会議で決定する）

【E . 授業計画・内容】

週	内 容	備 考
1	概要説明、科学英語基礎、TOEIC 受験について	担当者：青柳
2	材料工学分野をテーマにした科学英語基礎	担当者：青柳
3	英訳演習を中心とした英文法の復習 1	担当者：青柳
4	英訳演習を中心とした英文法の復習 2	担当者：青柳
5	英訳演習を中心とした英文法の復習 3	担当者：青柳
6	科学英語文の書き方と英訳演習 1	担当者：青柳
7	科学英語文の書き方と英訳演習 2	担当者：青柳
8	科学英語文の書き方と英訳演習 3	担当者：青柳
9	科学英語文章の作成（課題レポート）1	担当者：青柳
10	科学英語文章の作成（課題レポート）2	担当者：青柳
11	科学英語文章の作成（課題レポート）3	担当者：青柳
12	課題レポート発表会 1	担当者：青柳
13	慣れておきたい表現	担当者：青柳
14	英文履歴書と健康診断書等の書き方	担当者：青柳
15	課題レポート発表会 2	担当者：青柳
16	第 16 週～第 30 週（後期）は、卒業研究室単位で指導教員の指導下で、研究テーマに関する英語論文や英語書籍の輪講を行う。	担当者：卒研指導教員
17	研究テーマに関する英語論文あるいは英語書籍の輪講	担当者：卒研指導教員
18	研究テーマに関する英語論文あるいは英語書籍の輪講	担当者：卒研指導教員
19	研究テーマに関する英語論文あるいは英語書籍の輪講	担当者：卒研指導教員
20	研究テーマに関する英語論文あるいは英語書籍の輪講	担当者：卒研指導教員
21	研究テーマに関する英語論文あるいは英語書籍の輪講	担当者：卒研指導教員
22	研究テーマに関する英語論文あるいは英語書籍の輪講	担当者：卒研指導教員
23	研究テーマに関する英語論文あるいは英語書籍の輪講	担当者：卒研指導教員
24	研究テーマに関する英語論文あるいは英語書籍の輪講	担当者：卒研指導教員
25	研究テーマに関する英語論文あるいは英語書籍の輪講	担当者：卒研指導教員
26	研究テーマに関する英語論文あるいは英語書籍の輪講	担当者：卒研指導教員
27	研究テーマに関する英語論文あるいは英語書籍の輪講	担当者：卒研指導教員
28	研究テーマに関する英語論文あるいは英語書籍の輪講	担当者：卒研指導教員
29	研究テーマに関する英語論文あるいは英語書籍の輪講	担当者：卒研指導教員
30	研究テーマに関する英語論文あるいは英語書籍の輪講	担当者：卒研指導教員